

製品名 (告示品名)	潜熱回収型ガス温水暖房機器 (高効率家庭用ガス温水機器の一種)
----------------------	------------------------------------

告示対象条項	低炭素投資促進法告示 2項53号
--------	---------------------

条文	省エネ法施行令第21条第14号に掲げるガス温水機器のうち、ガス温水機器の性能の向上に関する製造事業者等の判断の基準等(平成16年経済産業省告示第316号)の3に定める測定方法により測定したエネルギー消費効率が、表の左欄に掲げる区分ごとに同表の右欄に掲げる基準エネルギー消費効率を下回らないものに限る。
----	--

潜熱回収型ガス温水暖房機器とは		<p>潜熱回収型ガス温水暖房機器とは燃焼ガスの顕熱及び潜熱を利用できるように専用の熱交換器を設けて高効率化した機器です。 風呂給湯機器、給湯器などの機器が開発されています。 一般に排気温度が低くなるため燃焼ガスのドレン水対応が必要になります。</p>
-----------------	---	---




しゅみ メリット・特長	<h3 style="color: #008080;">潜熱回収型給湯器</h3>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 供給された水は二次熱交換器で温められます。 2. 暖められたお湯は一次熱交換器で所定の温度まで加熱されます。 3. 燃焼排気ガスは50°C程度まで下がるため、熱効率は95%になり排気ロス5%程度です。 4. 排気温度が低いいため燃焼排気ガス中の水分が凝縮してドレン水になります。 5. 燃焼時に空気中の窒素と水分により硝酸になり、ドレン水に含まれ酸性になるため、炭酸カルシウム
	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>約50~80°Cになった燃焼ガスを排出します。</p> <p>排気(50~80°C) 排気ロス5%</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お湯の流れ1 送られてきた水は、まず二次熱交換器で温められます。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>熱利用2 約200°Cになった燃焼ガスの熱を二次熱交換器で再利用します。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お湯の流れ2 温められたお湯は一次熱交換器ですらに加熱されます。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>熱利用1 約1500°Cで一次熱交換器で加熱します。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>中和器で酸性のドレン水を中和します。</p> </div>	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従来の一次熱交換器に加えた二次熱交換器により排気ガス温度を200°Cから50°Cまで下げることによって排気ガスロスを減少させて95%の熱効率を達成しております。 2. 排気ガス温度を下げることで発生するドレン水は酸性をしておりますが、炭酸カルシウムによって中和させてpH値を6以上にすることで雨水と同等です。 3. ドレン水の排水が詰まるなど中和器からあふれる前に機器を停止させます。 4. 中和剤の炭酸カルシウムは消耗しますが、中和性能を維持できなくなる前にメンテお知らせ後運転を停止してドレン水の中和性能を維持します。 	

製品名 (告示品名)	潜熱回収型ガス温水暖房機器 (高効率家庭用ガス温水機器の一種)
---------------	------------------------------------

種類(例)	標準設置型	扉内設置型	アルコーブ設置型
			
	屋内設置FF型(2本管)	スリム型	壁貫通型
			

導入事例		
関連工業会	社団法人 日本ガス石油機器工業会	
開発メーカー 五十音順	株式会社ガスター	
	高木産業株式会社	
	株式会社長府製作所	
	株式会社ノーリツ	
	株式会社ハウステック	
	株式会社パロマ	
	リンナイ株式会社	
販売価格帯	<input type="checkbox"/> 300万円未満 <input type="checkbox"/> 300～1,000万円 <input type="checkbox"/> 1,000～5,000万円 <input type="checkbox"/> 5,000万円超 <input checked="" type="checkbox"/> その他(約50万円以下)	

製品名 (告示品名)	潜熱回収型ガス温水暖房機器 (高効率家庭用ガス温水機器の一種)
---------------	------------------------------------

Reduce CO2 環境効果 	従来の給湯部は熱効率が80%でしたが、本製品は95%までアップしていることから、 1. CO ₂ 排出量を15ポイント削減しています。 2. NO _x 排出量を15ポイント削減しています。
Save Energy 省エネ効果 	従来の給湯部は熱効率が80%でしたが、本製品は95%までアップしていることから、一次エネルギーを15.8%削減しています。
Save Money 経済効果 	給湯の標準使用量を17.4GJとすれば、熱効率80%では一次エネルギー21.75GJ、95%では18.32GJ必要であり、この差分3.43GJが削減されます。3.43GJは都市ガス13A換算で74.5m ³ に相当します。ふろ・暖房はふろ1.5GJ・暖房11.4GJの12.9GJが暖房熱交換器負荷になります。従来型80%から87%へ熱効率アップすることより0.90GJが削減されます。この削減量は都市ガス19.57m ³ に相当します。以上より、都市ガスを94.1m ³ 削減、ガス単価を120円/m ³ とすれば年間11,292円の節約になります。
適正リース期間	